

会社概要

会社名

株式会社ブロードバンドセキュリティ (略称:BBSec)
BroadBand Security, Inc.

本社所在地

東京都新宿区西新宿8-5-1
野村不動産西新宿共同ビル4F (〒160-0023)

設立

2000年11月30日

資本金

292百万円

決算期

6月

株式公開情報

市場:東京証券取引所 スタンダード市場
上場日:2018年9月26日
株式コード:4398



従業員数

222名(2022年6月末現在。派遣、業務委託等を除く)

代表者

代表取締役社長 滝澤 貴志
代表取締役副社長 森澤 正人

事業内容

1. セキュリティ監査・コンサルティングサービス
2. 脆弱性診断サービス
3. 情報漏えいIT対策サービス

事業所

国内:天王洲オフィス、大阪支店、名古屋支店、東北セキュリティ診断センター
海外:韓国支店
オペレーションセンター(東京都内)

URL

<https://www.bbsec.co.jp/>



<採用係>TEL:03-5338-7324 E-mail:hr@bbsec.co.jp
<https://www.bbsec.co.jp/> <https://www.sqat.jp/>

■本社/〒160-0023 東京都新宿区西新宿 8-5-1 野村不動産西新宿共同ビル 4F



RCT_リ_04_2022.9



BroadBand Security, Inc.

会社紹介



株式会社ブロードバンドセキュリティ



便利で安全な ネットワーク社会を創造する

近年、組織や企業、個人を問わず甚大な被害をもたらしている「サイバー攻撃」。その種類は様々で、目々姿・形を変え、私たちの脅威となっています。そんな脅威から被害を防ぐITセキュリティの技術に特化した企業、それが株式会社ブロードバンドセキュリティ(BBSec)です。

ブロードバンドセキュリティ(BBSec)とは・・・

セキュリティ対策の可視化から運用までをトータルに支援する
セキュリティサービスプロバイダー



当社は「ITセキュリティサービス」に特化した、企業向けサービスの専門企業です。ITセキュリティは、何か一つデバイスを導入したら解決するものではなく、「心」(社員の意識付けや教育)、「技」(技術ソリューション)、「体」(組織的取り組み)の三位一体の取り組みが不可欠であり、それを理念として最良のサービス提供に努めております。



セキュリティ監査・コンサルティング

お客様システムの可視化/課題抽出/課題解決を目的とした、組織全体に対するセキュリティ支援サービス。IT・組織両面からセキュリティの盲点を発見し、実現可能な解決策を提示いたします。

脆弱性診断

お客様システムに潜む脆弱性の有無を検証し、リスクを分析した上で改善案を提示するサービス。時々刻々と変化するセキュリティ事情に対応するために様々なニーズに応える各種診断メニューを取り揃えております。

情報漏えいIT対策

慎重かつ堅実な継続的作業を求められるセキュリティ運用を、セキュリティのプロフェッショナルが24時間・365日体制で支援いたします。

社員の成長 = 会社の成長

社員には長く働いていただきたい。
そして一緒に成長していただきたい。
そのために働きやすい環境を整えています。

- 年2回の面談を通じ、一緒に最適なキャリアプランを考えます。
- 充実の研修制度。OJTだけではなく、定期的な勉強会の開催など体系的に学ぶ仕組みを整えています。
- 社員の“みらい”のために1日の勤務時間を1時間短縮し、6.5時間にしました。

重要視される「ITセキュリティサービス」

IoTやAI・キャッシュレスなど、様々な最新技術が出ている昨今、ITセキュリティサービスは重要視されており、市場としても急成長しています。

当社は2005年のITセキュリティサービス開始以来、お客様に信頼頂けるパートナーとして、サイバー攻撃に強い企業づくりを支援してまいりました。長年の実績で培われたお客様目線のサービスモデル、ノウハウの提供は高い評価を得ています。

多くのお客様から選ばれるのには理由があります

ニュートラル	最適な改善策を提示するために欠かせないベンダーニュートラル性
信頼性	サービスご利用の高いリピート率が示す高信頼性
技術対応力	経験、知識、情報網を核とした最先端の技術対応力
顧客対応力	お客様個別のニーズやスピードにお応えする柔軟な顧客対応力

Q. 「ITセキュリティ」とは？

サイバー攻撃という「目に見えない敵」からコンピュータシステムやネットワーク、情報資産を守ることです。

日々姿・形を変えて襲ってくる「目に見えない敵」から守るための最適な施策の選択には高い専門知識を必要とします。当社はITセキュリティに特化することで、この分野における高い知識と技術力を保有し、サービスとして展開しています。

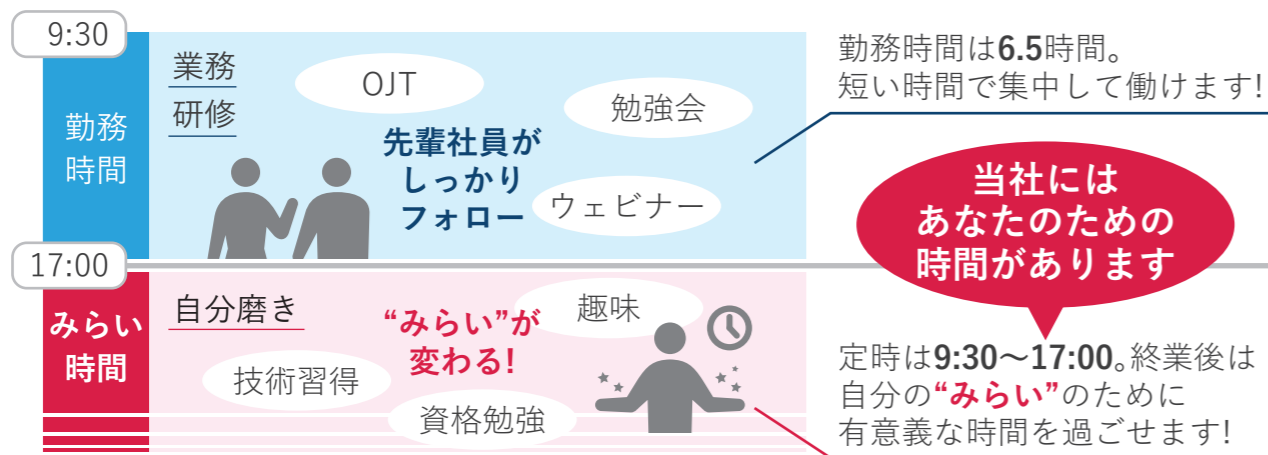


“みらい”のなりたい自分になるために

業務改革や職場環境の整備を進め、全力でサポートします！

ワーク・ライフ・バランス

一人ひとりの“みらい”のために時間を使ってほしい。そんな思いから、勤務時間を見直しました。



【勤務時間】9:30～17:00(休憩1時間) ※残業代20時間固定支給(超過分は1分単位で支給)

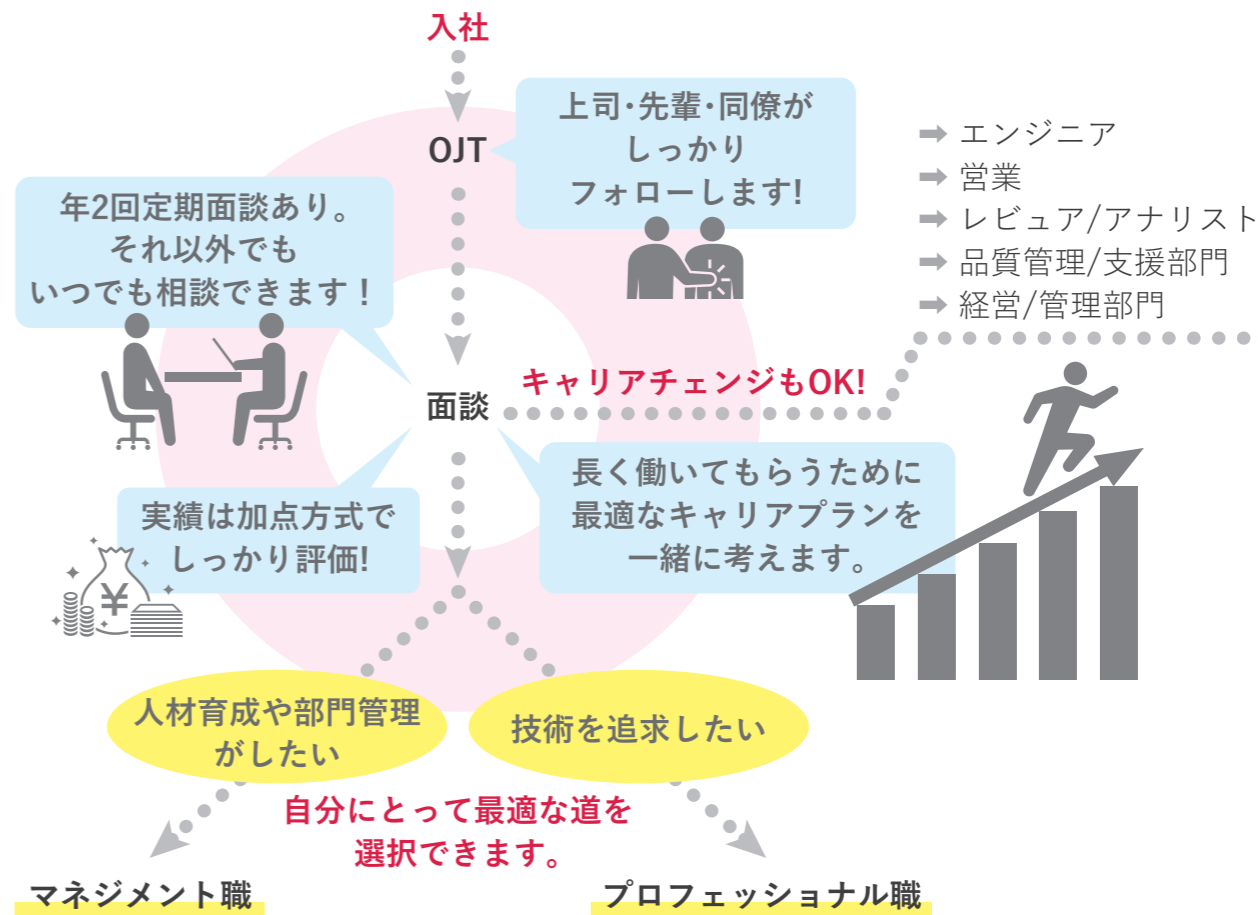
【休暇】・夏季休暇:3日(指定期間内で取得)

・年末年始休暇:12月29日～1月4日

・有給休暇:年20日(入社月に応じて按分) ※年平均取得日数:11.5日

★大型連休と組み合わせて長期休暇の取得も可能

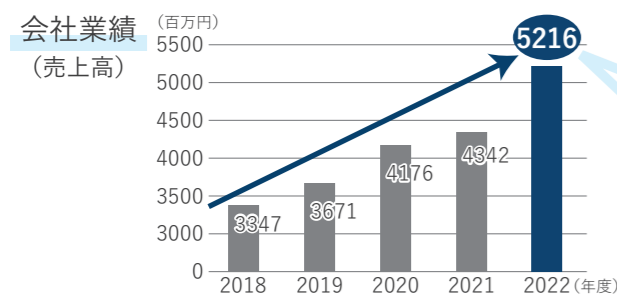
長く、やりがいを持って働いていただくために、一人ひとりの“みらい”について一緒に考えます。



- エンジニア
- 営業
- レビュー/アナリスト
- 品質管理/支援部門
- 経営/管理部門

今後ますますニーズが高まると予測されるセキュリティ業界で業績、給与とも順調な成長率で推移しています。

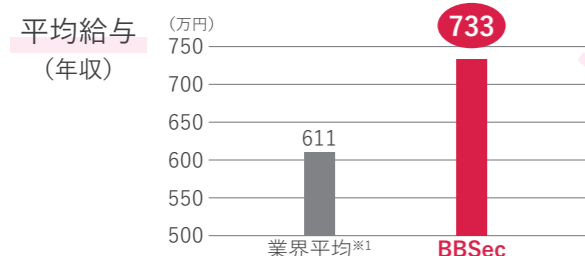
業績・給与



セキュリティサービス提供を専業とする当社にとって恵まれた市場環境※で高い成長率を維持しています。

※セキュリティサービス提供を専業としている企業は数社

ストック型ビジネスのベースにフロー型ビジネスを積み上げ売上高成長を超える利益成長を実現していきます。



社員の平均年収※2は業界高水準。

頑張った分はしっかり還元します。

勤務時間が短くなっても給与は変更なし。時間単位での給与は大幅アップ!!

※1 参照: <https://www.nta.go.jp/publication/statistics/kokuzeicho/minkan2020/pdf/002.pdf>
 ※2 月20時間の固定残業代を含む(20時間超過分は別途支給)

充実の研修制度

未経験の方も安心の研修制度。入社翌日からキャリアに応じて研修を実施。OJTだけではない、体系的に学ぶ仕組みを整え、あなたのキャリア構築を応援します。

【研修の一例】

- 奈良先端科学技術大学院大学 門林教授による最新動向レクチャー(月1回)
- 一般社団法人日本ハッカー協会 杉浦理事による最新技術レクチャー(月1回) ※下記参照
- 各種資格社内勉強会(情報処理安全確保支援士、公認情報システム監査人(CISA)など)

当社では技術教育の一環として、一般社団法人日本ハッカー協会の杉浦理事を招いて毎月セミナーを実施しています。

過去の研修例

- ・仮想通貨の動向
- ・自動車ハッキングの実際
- ・IoTセキュリティの実態
- ・今年のhackerssummercamp
- ・メールアドレスからOSINTでわかる情報
- ・Wi-Fiセキュリティ
- ・WPADとproxy.pac
- ・1時間でできるIoT入門ハンズオンArduinoを使ったIoT

研修の様子



あなたが会社の資産

組織としてのセキュリティ

情報セキュリティマネジメントシステム

ISO/IEC 27001:2013=JIS Q 27001:2014

認証機関:国際マネジメントシステム

認証機構株式会社

認証登録番号:ICMS-SR0328

認証登録日:2007年6月12日

登録範囲に含まれる組織:本社、有明オフィス、大阪支店、
データセンター、天王洲オフィス、
名古屋支店

セキュリティ診断/コンサルティングサービス、
セキュアメールサービス、マネジメントサービス
上記業務にかかわる情報セキュリティマネジメント



プライバシーマーク

JISQ 15001:2006

認証機関:JIPDEC

(一般財団法人 日本情報経済社会推進協会)

認定番号:第10470048号

初回認定日:2007年10月23日



PCI DSS認証監査機関

QSA(Qualified Security Assessor Company)

QSA(Qualified Security Assessor Company)

認証機関:PCI SSC(Payment Card Industry
Security Standards Council)

届出受理年月日:2008年5月16日



P2PE認証監査機関

Point-to-Point Encryption Assessor Company

認証機関:PCI SSC

届出受理年月日:2016年5月16日



3Dセキュア認定評価機関

PCI 3DS Assessor Company

認証機関:PCI SSC

届出受理年月日:2018年4月30日

カード情報漏えい事故を取り扱う調査機関

PFI(PCI Forensic Investigator)

クレジットカード製造におけるセキュリティ評価機関

CPSA(Card Production Security Assessor)

情報セキュリティサービス基準適合サービス登録

申請機関:特定非営利活動法人

日本セキュリティ監査協会

対象サービス、登録番号:

・情報セキュリティ監査サービス(018-0038-10)

・脆弱性診断サービス(018-0038-20)

・デジタルフォレンジック(018-0038-30)

・セキュリティ監視運用サービス(018-0038-40)



技術者・コンサルタント

★セキュリティの公的資格をもつ技術者が多数在籍

国家資格

- ・ITストラテジスト(ST)
- ・システムアーキテクト(SA)
- ・ネットワークスペシャリスト(NW)
- ・データベーススペシャリスト(DB)
- ・システム監査技術者(AU)
- ・情報処理安全確保支援士(SC)

ベンダー資格

CISCO

- ・シスコ技術者認定資格・プロフェッショナル

LPI

- ・Linux技術者認定試験(LPIC-3)

ITIL Foundation

- ・Information Technology
Infrastructure Library(ITIL)

Palo Alto

- ・Palo Alto PSE Platform-Professionals
- ・Palo Alto Networks Certified Network
Security Engineer(PCNSE)
- ・Palo Alto AMPLIFY Security Fundamentals

Vmware

- ・VMware Sales Professional
- ・VMware Technical Solutions
Professional(VTSP)
- ・VMware Endpoint Protection
Post-Sales Accreditation

Splunk

- ・Splunk Core Certified Power User
- ・Splunk Accredited Sales Rep I
- ・Splunk Accredited Sales Engineer I
- ・Splunk Enterprise Certified Admin

Microsoft

- ・Azure Fundamentals

ESET

- ・ESET認定技術者

GSX

- ・グローバルセキュリティエキスパート セキュリスト
(SecuriST)認定脆弱性診断士 WEB
(SecuriST)認定脆弱性診断士 NW

ベンダー資格

PCI SSC

- ・QSA ・P2PEQSA ・3DS Assessor
- ・CPSA物理 ・CPSA論理
- ・PCI Forensic investigator(PFI)

ISC2

- ・CISSP

ISACA

- ・CISA ・CISM

PMI

- ・PMP

SANS

- ・GCFA ・GNFA ・GREM
- ・GCFE ・GCIH ・GPEN

EC-Council

- ・CEH

AWS

- ・AWS Certified Security - Specialty(AWS SCS)
- ・AWS Certified Advanced Networking - Specialty(AWS ANS)
- ・AWS Certified Database - Specialty(AWS DBS)
- ・AWS Certified Data Analytics - Specialty(AWS DAS)
- ・AWS Certified Machine Learning - Specialty(AWS MLS)
- ・AWS Certified Solutions Architect - Professional(AWS SAP)
- ・AWS Certified DevOps Engineer - Professional(AWS DOP)
- ・AWS Certified Solutions Architect Associate(AWS SAA)
- ・AWS Certified SysOps Administrator - Associate(AWS SOA)
- ・AWS Certified Developer - Associate(AWS DVA)
- ・AWS Certified Cloud Practitioner(AWS CLF)



目指したい先輩がそばにいます。
目の前でレベルの高い技術、知識を学べます。

Message

セキュリティ業界で働こうと考える若手のみなさんへ

奈良先端科学技術大学院大学 サイバーレジリエンス構成学研究室
教授 門林 雄基

国内外でサイバーセキュリティの標準化に取り組む。日欧国際共同研究 NECOMA プロジェクトの日本研究代表、
WIDE プロジェクトボードメンバーなどを歴任。

奈良先端大 門林です。早いものでインターネットが発明されてから約半世紀がたち、
セキュリティが「業界」と呼べるほどの規模になってしまいました。セキュリティ業界は
おカネになりそうだから、成長分野だから、という理由でこの業界を目指す人もいること
でしょう。もちろんウェルカムです。

しかし、「セキュリティ業界」という括りでこれからも仕事していけるとは、誰も保証していません。「セキュリティ
専門家」だとみなさんが思っている人々も、当人に話を聞いてみるとインターネットビジネスの黎明期から、
何から何まで自分でやっていた人々ばかりです(ちなみに私もそうです)。そんな業界とか肩書きはどうでもよく、
人のために役に立とう、と考え、地道に技術的研鑽を続け、ひとさまに信用される結果を出し続ければ、あとから
評価はついてくると思います。

急速に発展するデジタル経済の中で、日本のビジネスが成功をおさめ、その鍵となる差別化要素がセキュリティだっ
たとしたら、うれしいではありませんか。そのために、ともに切磋琢磨し、技術者としての底力を蓄え続けてください。

